

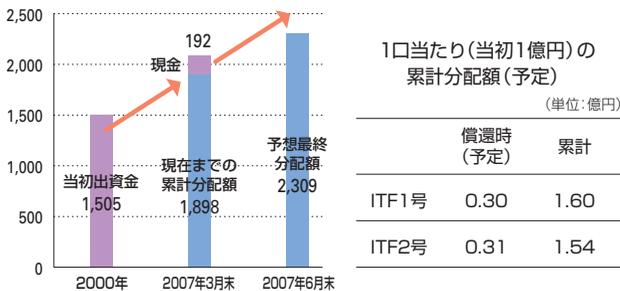
アセットマネジメント事業

「ベンチャーキャピタルNo.1の実績を背景に拡大を続ける 投資領域と運用資産規模」

- アセットマネジメント事業の主要企業
- ・ SBIインベストメント(株) ベンチャーキャピタルファンド等の運用・管理
 - ・ SBIキャピタル(株) バイアウト・企業再生ファンド等の運用・管理
 - ・ SBIキャピタルソリューションズ(株) メザニンファンド等の運用・管理
 - ・ SBIアセットマネジメント(株) 投資信託委託業、有価証券等に係る投資顧問業
 - ・ SBI VEN CAPITAL PTE. LTD. シンガポールにおけるベンチャーキャピタルファンド等の運用・管理

ITファンドの分配見込額

(単位：億円)



最終清算時までSBIグループで181億円の追加分配を受領予定。
これによりSBIグループの累積分配受領額は998億円となる。

アセットマネジメント事業においては、日本におけるベンチャーキャピタルNo.1の実績により信用力・ブランド力が強化されていることに加え、国内外の有力パートナーとの提携等を拡充することにより、投資領域ならびに運用資産が順調に拡大を続けております。

償還を迎えるITファンド

旗艦ファンドであるソフトバンク・インターネットテクノロジー・ファンド(ITファンド)は2007年6月に償還を迎えましたが、これに伴って2008年6月の最終清算時まで発生する成功報酬と追加分配をそれぞれ45億円、181億円と試算*しており、SBIグループの累積分配受領額は998億円となる見込みです。

*これらの成功報酬や分配金は市場の動向を見ながら2008年6月までの1年間の清算期間に亘り実現しますので、一部は2009年3月期に計上される可能性があります。

また、2007年3月期のIPO(新規株式公開)件数は10件で、うち出資比率が10%を超える企業が6社と比較的出資比率の高い投資先が中心でした。2008年3月期には22件のIPOを見込んでおり、このうち2007年6月末現在すでに5社が上場済みです。

投資先今期IPO・M&A社数

	事業開始から 2006年3月期まで	2007年3月期	2008年3月期 (予定)
IPO・M&A社数	89	10	22
		出資比率5%～10%以下 2	出資比率5%～10%以下 8
		出資比率10%超 6	出資比率10%超 0

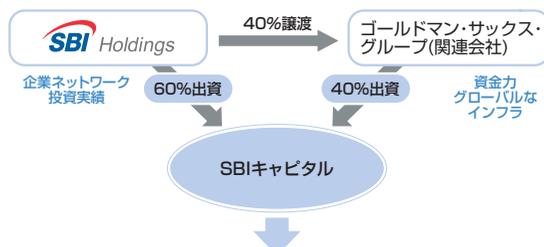
※IPO予定社数には、毎週開催しております「案件会議」での検討に基づき、投資先5段階評価において最上位に区分されたものが含まれておりますが、これら投資先の評価およびIPO予定の見通しは当社独自判断に基づいたものであり、今後のIPOを保証するものではありません。尚、過去実績のIPO・M&A社数はすでに売却済みのもを含みます。

中規模企業を対象としたバイアウト投資の強化

SBIキャピタルは企業再生分野の3つのファンドをネット投資家利回り20%前後という高い運用成績を残して2007年3月期に償還し、新たに2006年9月に231億円で設立したバリュウアップファンド「SBI Value Up Fund 1号投資事業有限責任組合」においても、すでに2件の投資を実行いたしました。第1号案件として、スペシャルティコーヒーの「タリーズコーヒー」等を全国展開するフードエクス・グループ(株)の発行済株式の29%を取得し、2007年6月には取得価額の1.67倍で全株式の売却に成功したため、2008年3月期にはキャピタルゲインとして連結営業利益約17億円を計上することとなりました。また第2号案件として、不動産を担保にした個人及び法人向け融資事業が順調に拡大し、業績も好調に推移している(株)セムコーポレーションの発行済株式の57%を取得いたしました。なお2007年7月には、第3号案件として、オリジナルブランドの展開により子供服業界において強固なブランド力を有する(株)ナルミヤ・インターナショナル株式の発行済株式の66.65%を上限とする株式公開買付けの実施を発表しております。

このように1号ファンドによる投資が順調に進捗していることから、早期に2号ファンドの組成を行う予定です。

中規模企業を対象とした投資分野における ゴールドマン・サックス・グループとの資本・業務提携



3年以内に外部出資も含めて
ファンド運用資産総額1,000億円を目指す

当社による40%の株式譲渡により、2008年3月期に連結業績で49億円、個別業績で63億円の特別利益を計上する見込み

また当社は、2007年5月にゴールドマン・サックス証券株式会社のグループ会社（以下、「GSグループ」）と、資本・業務提携に関する契約を締結しました。この契約に基づき、SBIキャピタル株式の40%をGSグループへ譲渡し、当社及びGSグループはジョイントベンチャーとなったSBIキャピタルを通じて、主に中規模の優良企業や成長性の高い企業を対象としたバイアウト等の投資を行うファンドを組成・運営していくことといたしました。

この資本・業務提携は、当社グループが培ってきた企業ネットワーク及び投資実績と、世界最大手の投資銀行グループとして自己勘定投資ビジネスに豊富な実績を有するGSグループのグローバルな資金力を最大限に活用することにより、地方企業や中堅企業等にも広く最先端の金融ソリューションを提供する投資ファンドを組成・運営することを目的としており、運用規模としては、3年以内に外部出資も含めてファンド運用資産総額1,000億円を目指してまいります。

現在のSBIグループのファンド運用規模

従来より主要投資領域としてきたIT・バイオ・企業再生分野における積極的な新ファンドの設定、不動産事業分野における投資総額の拡大ならびに海外の有力パートナーとの提携加速により、2007年6月末現在のSBIグループ全体の運用資産規模は、総額で6,890億円となっております。

SBIグループの運用資産の全体像

アセットマネジメント事業を中心にその他セグメントの運用資産も含めたグループ運用資産総額は、好調な投資信託分野での積み上げが牽引し、2007年6月末で6,890億円となった。

プライベート・エクイティ 合計2,804億円

(IT・バイオ関連)	合計 1,305
インターネット	102
ブロードバンド・メディア	677
モバイル	300
バイオ・その他 ※1	225

(環境・エネルギー) ※2 150

(バイアウト・メザニン) 合計	336
バリュアアップ	222
メザニン	113

(海外)	合計 492
中国・香港 ※3	372
インド	120

(直接投資) 521

投資信託等合計3,663億円

(投資信託等)	
投資信託 ※4	826
投資顧問	2,800
投資法人	37

不動産合計423億円

(不動産等)	
開発物件	156
稼働物件	267

不動産は投資総額、投資信託・投資顧問等は2007年6月末の時価純資産、その他ファンドは2007年6月時点の各ファンドの直近決算に基づく時価純資産で記載。

※1 現在募集中のバイオ・ファンド45億円(予定)を含みます。
 ※2 設立を予定している環境・エネルギー分野の新ファンドです。
 ※3 現在設立中の清華ホールディングス・ファンド36億円(予定)を含みます。
 ※4 7月25日に運用を開始したインド&ベトナム株ファンド200億円を含みます。

アセットマネジメント事業の各種商品のパフォーマンス一覧

主要VCの2000年以降の
ファンド償還
(SBIインベストメント)

ファンド名	IRR
ソフトベン2号	20.4
ソフトバンクベンチャーズ	20.5
LBOファンド1号	18.3
企業再生ファンド1号	25.7
VR企業再生ファンド	27.7
IRR平均値	22.5

未公開株を入れた画期的な
投資信託の商品
(SBIアセットマネジメント)

参考	基準価格
未公開株組入ファンドI	21,742円
運用期間平均利回り	14.7%
未公開株組入ファンドII	19,660円
運用期間平均利回り	16.7%

Lipper Fund Awards Japan 2006
最優秀ファンド賞受賞
未公開株組入ファンドIIIは
210億円を募集完了

メザニンファンド
(SBIキャピタルソリューションズ)

実績
利回り20.4% (対投資平均残高) (2007年5月月末)

オルタナティブ商品
組成・管理 日経平均先物OP
(SBIアルスノーバリスサーチ)

実績
年率利回り24.88% (手数料控除後17.84%) (2007年5月末現在)

※ IRR平均値は各ファンドのIRRの単純平均です。

COLUMN

加速する海外展開

アセットマネジメント事業の海外展開においては、2007年5月にアジア地域への投資拠点としてシンガポールに子会社を設立いたしました。今後は海外投資家からファンドへの出資を募り、インド・ベトナム・タイ等アジア各国(日本を含む)の未公開企業へのファンド投資を中心に事業を拡大してまいります。

これまでも、中国経済の今後の高い成長を見込み、2005年5月にはシンガポールの投資会社TEMASEK Holdings (Private) Limited(テマセク・ホールディングス)の100%子会社と共同で「New Horizon Fund」を設立し、同年9月に設立した北京駐在員事務所を拠点として、有望な中国企業へ積極的に投資を行ってまいりました。また2006年8月には、インド最大の商業銀行State Bank of India(インドステイト銀行)の100%子会社であるSBI Capital Markets Ltd.と、インドの有望な新興企業を投資対象とする出資約束金額1億米ドルの投資ファンド共同設立について基本合意したほか、2007年6月にはベトナム最大のハイテク企業であるFPT社(The Corporation for Financing and Promoting Technology)と提携し、ベトナムにおいて急速に成長している科学技術分野やIT分野を中心とした業界を投資対象とする、新たな投資ファンドを共同設立することで基本合意いたしました。

このように、今後も中国やインド、ベトナムなど引き続き高い成長率が見込まれる諸国において、資本関係を含めたアセットマネジメント分野での連携を一層強化し、さらなるグローバル化の推進を図ってまいります。

シンガポール投資拠点を5月に開業

シンガポールにて資金を集め(300~500億円の調達)、
高成長のアジア地域を中心とした投資事業の展開



SBI VEN CAPITAL PTE. LTD.

既に現地において資金集めを開始

【シンガポール拠点：SBI VEN CAPITAL PTE. LTD.の概要】

設立：2007年2月22日
 出資比率：SBIホールディングス(株)100%
 従業員数：(当初)6名程度、20名程度へ増員予定
 資本金：900,001米ドル
 所在地：2 ShentonWay, #04-03 SGX Centre1, Singapore068804